

# 苗雲

大口高校だより

鹿児島県立  
大口高等学校

〒895-2511 伊佐市大口里2670

TEL 0995-22-1441 FAX 0995-22-9227

## 新春の伊佐を駆け抜けろ！ ロードレース大会

2月6日、伊佐市陸上競技場とその周辺のコースで、ロードレース大会が開催されました。昨年は降雪のため中止となり、今年も天気が心配されましたが、出発時には雨も止み、予定どおり実施しました。

これまで、生徒たちは体育の時間を中心に本番に向けて体力向上に努めてきました。出発直前は、気合い十分にウォーミングアップを行う生徒、緊張の面持ちで友人と激励し合う生徒など、各々に士気を高めていました。

コースは男子は8.0km、女子は3.5kmで、陸上競技同好会顧問の永田宏一郎先生と3年生の若松陽斗君が先導を務め、生徒たちを牽引しました。生徒たちは、保護者や先生方、そしてクラスメートの応援を受け、懸命に頑張りました。ゴールした後も、友達を応援したり、励ましながら伴走したりと、仲間の絆を感じる場面も多く見られました。

閉会式では、男子・女子それぞれ8位までの入賞者が紹介されました。男子の1位は2年生の北園奏真君、女子の1位は2年生の奥平樹さんです。自分の持てる力を十分に発揮した生徒たちは、実に清々しい表情をしていました。これまでの頑張りと、本日走り終えた達成感を自信に変えて、これからも学校生活を楽しんでほしいです。



## いざ出陣！ 共通テスト

1月17日・18日に実施される大学入学共通テストに向けて、16日の午後に皆に見送られながら出発しました。

正門前で行われた出発式では、吉満校長が「これまで頑張ってきたことを信じて、最後の最後まで諦めず頑張ってください。」と激励の言葉をかけ、3年生の中村良太君が音頭をとってエールを送りました。これに答えて、永山裕都君が代表して「皆さんの思いをしっかりと受けとめ、自己ベストの点数を目指して頑張ってきます。」と力強く挨拶をしました。

共通テストを経て2次試験に向けて頑張っている受験生の皆さん、体調管理をしっかりとって合格をつかみ取ってください。



## サッカー部 新人戦大健闘！

1月18日、「半端ない人工芝サッカー場」で行われた県高校新人サッカー大会の1回戦で、鹿児島玉龍高校と対戦しました。

前半、川平大翔君のゴールで先制するも、セットプレーから失点し1-1の同点。後半残り10分という時間帯に1点を許してしまいます。これまでかと諦めかけたラストプレイ、重信佑和君が放ったミドルシュートが見事にゴールを揺らし、同点でホイッスル。勢いに乗った大口高校がPK戦も制し、見事勝利を収めました。最後まで諦めないことの大切さを、サッカー部の生徒たちから教えられた試合でした。

なお、翌日行われた2回戦でも、強豪樟南高校を相手に最後まで粘り強く戦いましたが、0-2で惜敗しました。



## 「新納忠元クッキー」開発

今年、新納忠元生誕500周年を迎えるに当たり、機運を高めるためにPRしようと、大口高校米（マイ）クッキーの第3弾となる、新納忠元クッキーを開発しました。

3年生の吉永実央さんがクッキーのデザインを描き、2年生の山下創人君が包装紙に忠元を描きました。

1月8日に伊佐市役所を訪問し、橋本市長に披露したところ、「伊佐市のPRに活用したい。」と大変喜ばれました。



## 2年生、総探中間発表会

1月15日に2年生による総探中間発表会がありました。テーマを設定し1年間取り組んできた内容をスライドにまとめ、それぞれの学びを発表しました。

地元に関係するものや自分が興味があることなど、自分の思いを持って分かりやすく伝えました。

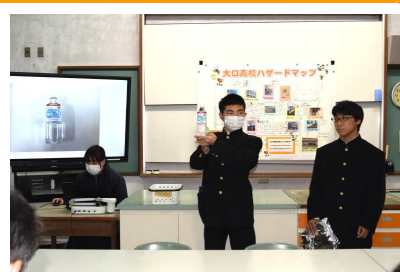
聴講した1・3年生からも多くの質問やアドバイスがありました。今後の活動に生かしてもらいたいと思います。



## 学校保健委員会における保健委員発表

2月4日の学校保健委員会で、保健委員が『防災について～校内ハザードマップの作成～』というテーマで発表を行いました。2年生の山口直大君、東佐羽さん、1年生の長岡修平君、井上怜生君が、1ヶ月前から準備してきたもので、マップの解説に加え、今後予想される災害・防災グッズの紹介もあり、とても参考になりました。

委員長の山口君は「初めは校内ハザードマップを作成できるか不安だったが、皆で校内に危険箇所がないか確認したり、防災について調べたりする活動を通して、無事完成させることができてよかった。」と話していました。





## 大規模改修工事始まる

いよいよ校舎の大規模改修工事が始まりました。今回の工事では、内装は県内産の木材を使って温かみのある教室に仕上げ、外装も新築と全く変わらないような仕上がりになる予定です。

大口高校は、次の100年に向けて、ハード面もソフト面も新しく生まれ変わつつあります。



まず校舎の西側半分から着工



教室の完成予想図

## 「学校案内板」一新

学校に入る交差点に「鹿児島県立大口高等学校」と書かれた案内板が立っていますが、経年劣化で字がぼやけてしまっており、見えづらい状況でした。

そこで、このたび校舎の大規模改修を請け負っている南建設様が、ボランティアで補修してくだり、鮮明になりました。

これで入口を迷う人も減ると思います。ありがとうございます。



## 「大口高校PR横断幕」完成

「元気こころ館」の横に大口高校をPRする横断幕が掲げられていますが、このたび新しいものが完成しました。

3年生が自分たちで撮影したポスターの写真に加え、体育祭の応援団の集合写真を掲載し、みんなで作り上げ、盛り上がる大口高校の学校行事を前面に打ち出しました。

中学生の皆さん、大口高校で充実したスクールライフを送ってみませんか。在校生・職員一同お待ちしております。



## 4人揃って初段合格

高校に入学してから弓道を始めた弓道部の1年生4人全員が、このたび、めでたく初段に合格しました。

部長の堀ノ内彩菜さんは、「顧問の先生方のご指導のもと、所作を丁寧に行うことを意識して練習を重ね、初段に合格することができました。これからも基本を大切に、練習に励んでいきたいです。」と凛々しく話してくれました。



## 頑張れ!伊佐チーム

鹿児島に春の訪れを告げる県下一周駅伝。今年は本校体育科の永田宏一郎先生が、伊佐チームの選手兼コーチとして参加します。

選手は仕事を持っていたり、市外の高校に通っていたりと、なかなか全員揃っての練習はできませんが、毎週水曜日の夜に伊佐市陸上競技場に集まって、合同練習をしています。

伊佐市内を駆け抜けるのは2月23日です。祝日(春分の日)ですので、みんなで応援しましょう。



## 校長室の窓辺より

正面玄関前の梅のつぼみが膨らんできました。本紙が発行される頃にはちょうど見頃になっていることでしょう。

さて、梅の花と聞いて思い出すのは、西郷隆盛の漢詩に出てくる「耐雪梅花麗(雪に耐え梅花麗し)」という一節です。この漢詩は、イギリスに留学する甥の市来政直に贈ったもので、「厳しい雪の寒さに耐えてこそ梅の花は美しく咲く。人間も、多くの困難を経験してこそ大きなことを成し遂げられる」という激励の詩です。

伊佐市は県内で最も寒いところで、「鹿児島の北海道」と言われるほどです。その寒さに耐えて頑張った3年生が3月2日に卒業式を迎えます。それぞれ自分が選んだ道で大きな花を咲かせてほしいと思います。



## 予 告 !

## 「元町通り会 屋台横丁」出店

2月15日の11:30~17:00に、伊佐市商工会前駐車場で「元町通り会 屋台横丁」が開催されます。

大口高校は、3年生のボランティアの生徒たちが店頭に立ちます。販売品目は、飲み物、駄菓子、文房具などを予定しています。そのほか、「チームちむどん」でパフォーマンスをする生徒もいます。

毎回大盛況の屋台横丁。今年も多く屋台が立ち並びます。皆さんぜひ足を運び、食べて、見て、楽しんでください。



## 鹿児島大学、大口高校 合同シンポジウム開催

3月20日の午後、菱刈環境改善センターにて、鹿児島大学と大口高校による合同シンポジウムが開催されます。吉満庄司校長が、鹿児島大学法文学部附属「鹿児島の近現代」教育研究センターの客員研究員を兼任していることから、伊佐市での開催が実現しました。

テーマは、「伊佐の近現代 ~これまでの100年、これからの100年(仮)」で、前半は吉満校長が牛尾金山、曾木発電所、国鉄山野線、そして大口高校等を切り口に、伊佐の繁栄の歴史について講演をします。

後半は伊佐市の橋本市長、若手起業家の井ノ原大成さん、本校OGの猩々由美子さん、そして本校2年生の林優希君をパネリストに迎え、伊佐の将来像について熱く語り合います。入場は無料です。お楽しみに。

